



三木町

No.131
2010.April

議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



桜の下でのなわとび

3月定例議会

- 全議案を可決 2
予算総額は140億7200万円に
(水道事業会計を除く)
- 議案を審議 3
- 特集 4~6
22年度当初予算 集中審議
- 一般質問 8~14
7人が登壇・町長に見解を求める
- 委員会レポート 16
- 元気なグループ紹介 18
子育てサークルほかほかクラブ



町木:クロガネモチ



▲本会議採決の様様

3月 定例議会

一般・特別会計（水道事業会計を除く）

総額は、140億7,200万円に

22年度当初予算案など全議案を可決
石原町長が今限りで引退を表明

平成22年第1回定例議会は、3月9日から25日までの17日間の会期で開会された。

初日は、石原町長の平成22年度施政方針演説と、決算特別委員会の指摘事項に対する状況報告に続き、平成21年度一般会計および特別会計の補正予算案、ならびに平成22年度一般会計および特別会計当初予算案のほか、三木町健康生きがい中核施設（サンサン館みき）の設置および管理に関する案など30議案が上程された。

一般質問では、7人が登壇し、新年度当初予算について、コミュニティバスの運用、次期第5次三木町振興計画の策定、今後の下水道事業計画などについて、町長の見解を求めた。

今期定例議会の本会議場で、慎重に審議された30議案を、原案どおり可決した。また、住民から提出された陳情書3件については、建設経済常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

平成22年度当初予算

■一般会計総額

78億5,000万円

歳入

主な歳入	予算額	前年対比
町税	25億5,254万円	2.6%減
基金からの繰入金	6億4,862万円	5.5%減
地方交付税	18億円	2.9%増
国・県支出金	14億9,272万円	21.4%増
町債（借金）	4億7,620万円	31.5%減

歳出

主な歳出	予算額	前年対比
町道新設改良事業	1億7,136万円	53.5%減
地方改善施設整備事業	4,515万円	皆増
（公共）単独県費補助事業	4,242万円	41.4%減

特別会計等の当初予算

国民健康保険事業特別会計	29億 3,540万円
老人保健特別会計	150万円
簡易水道事業特別会計	4,960万円
農業集落排水事業特別会計	1億 6,980万円
介護保険事業特別会計	23億 320万円
公共下水道事業特別会計	4億 1,300万円
介護予防サービス事業特別会計	1,990万円
後期高齢者医療事業特別会計	3億 2,960万円
水道事業会計	
収益的収入	4億 9,551万円
収益的支出	4億 9,128万円
資本的収入	8,687万円
資本的支出	3億 241万円



議案を審議

4月診療分から医療費を減額

母子家庭等医療費支給に関する条例改正

問 現行の2分の1に引き下げた場合に該当する件数および見込額は。

答 住民生活課長
入院で18件、外来で1486件、金額で40万円となる。

三木町重度心身障害者等医療費支給に関する条例改正

問 現行の2分の1に引き下げた場合の該当者の人数および見込み額は。

健康福祉課長

課税世帯の方の入院および外来の場合を合わせ、延べ1万1940件、金額335万9400円、受給資格者605人の見込み。

サンサン館みきが三木町へ

問 来館者のうち町内外の占める割合は。

答 生涯学習課長
三木町が41・7%、高松市が39・1%、さぬき市が16・5%、その他が2・6%である。

問 県からの修繕費用として6000万円交付されるが、今後の修繕計画および費用の見込みは。

見込みは。

生涯学習課長

修繕費の算定期間は40年とし、県の積算によると最大16億円見込まれることから、この金額を積み立てる。

問 今回の指定管理者の指定について。

答 生涯学習課長
向こう3年間、財団法人三木町健康生きが財団を指定する。

町営住宅数2戸減少

問 町営公文明団地(井戸)の2戸を除却するが、空き家は修繕を行い使用していくのか。また、除却後の建て替え計画は。

答 土木建設課長
耐震問題もあることから、空き家になれば、随時除却をしていく。
建て替えについては、計画がない。

町道新開北線の路線を認定

人権のまちづくり事業の中核として、町道新設の要望が大きいことから、路線認定をした。

問 事業協議を進めている段階で、用地の面積が確定していないのは不自然であるが。

答 土木建設課長
平面測量は終了しているが、路線全体の了解を得られていないことから、協議が整った後に、面積が確定する。

産業振興課長

新規の計画はない。

上高岡に「池下みずば公園」を設置

問 香川用水の受益地だと思いが、公園にする理立てにしばらくはあのか。

答 産業振興課長
減水量は確保しなければならぬので山大寺池を浚渫(しゅんせつ)した。

問 県営事業とのことだが、この事業は存続するのか、また、要件は。

答 産業振興課長
今年も存続する。要件としては、複数のため池を取り組むことである。



▲譲渡されたサンサン館みき

虹の滝キャンプ場のバンガロー3棟を撤去

問 新規の建設計画および、跡地利用の計画はあるのか。

議 審

22年度当初予算 一般会計

0.8%減

78億5,000万円



予算編成方針

平成22年度の当初予算編成に当たっては、「量の改革」はもとより、町民サービスを高める更なる予算の「質の改革」に向けた取り組みを推進し、「量」と「質」の組み合わせにより、行財政改革の継続を図り、安定的な財政運営に努めることを基本としている。

一般会計

問 香西（茂）議員

町の財政状況の、經常収支比率、実質公債費比率、財政力指数等の現状は。

答 総務課長

平成20年度決算の実質・赤字比率、連結・実質・赤字比率などは、黒字のため該当していない。また、実質公債費比率、将来負担比率ともに適正な水準にあり、健全財政を確保している。

問 松原議員

町税の滞納分の徴収率について、予算算定における考え方はどうしているか。

答 税務課長

税務課職員が臨戸催告し、それでも応じない場合は、給料、預金の差し押さえ等、徴収

に努めている。

予算上、不納欠損になっても困るため、堅く算定している。

問 原田議員

地価は下がり続けているのに、固定資産税はあまり下がらないのはなぜか。

答 税務課長

地価は19年連続下がり続けている。課税標準額が、評価額に比べて低い水準であれば、地価が下がっても税負担は下がらない場合があり、アンバランスが生じる。2、3年すれば、ほぼ解消される。

問 富田議員

ゴルフ場利用税交付金について、屋島コンクリーが会社更生法の適用申請をしている。

今後の影響を、どのように考えているのか。

答 総務課長

会社更生法は、破産と異なり再建を前提として調整を図るものである。この利用税は、ゴルフ場周辺の整備や、雨水対策などに充てるために町に交付されるものである。今後の動向に注視している。

問 香西（義）議員

町の貯金である基金残高は。

答 総務課長

平成21年度末、普通会計で28億4700万円余、特別会計が8億4100万円余、合計36億8800万円余の残高見込みをしている。

問 桑井議員

ふるさと思いやり寄附金の人数と金額、寄附をいただいた方へのお礼は。

答 政策情報課長

寄附者は9人で、金額は71万5000円、地元特産品で還元する。

問 松原議員

借地料632万7000円、場所等の説明を求める。また、価格交渉の余地はないか。

答 総務課長

主なものは、平井小学校、面積2709㎡、料金197万8000円、役場南駐車場4601㎡、料金280万4000円、平木・上高岡・花丸3カ所の屯所492㎡、料金29万円余などである。それぞれ3年に1度評価替によって、料金を制定している。

22年度当初予算 集中

問 西丸議員

知事選と町長選の期間は、約2カ月の差であることから、知事選に併せて同時に選挙できないか。

答 総務課長

知事選は、県選挙管理委員会が執行するもので、町長選は、町単独の選挙であることから、非常に難しい。

問 渡辺議員

放課後児童クラブの開始時間を早めることへの検討は。

答 教育総務課長

父母が自主保育に取り組んでおり、朝の利用時間を早めている状況である。

問 原田議員

埋立最終処分場浸出水処理費用は、今までいくらかかり、東部清掃施設組合からいく

らもらったか。

また今後組合との対応は。

答 環境保全課長

平成15年から20年までであるが、2億8200万円余かかった。組合からは、1億9500万円余もらった。

答 町長

2市1町で構成している。さぬき市、東かがわ市ともに市長、そして議員が大幅に替わり説明が難しい。組合事務局にお願いしている。

問 桑井議員

イノシン等被害防止対策事業補助金について、町北部から要望があるが。

答 産業振興課長

補助金が少ないので、今後補正で検討する。

問 香西（俊）議員

農業振興費の減額の理由は。

答 産業振興課長

今年は、土地利用型農業高度化支援事業が終了、森のいちごも終了したので減少した。

問 西丸議員

新開地区まちづくり事業の整備をしていく中で、町道新開北線（仮称）道路新設の内容は。

答 土木建設課長

道路の延長は153mで、道路幅員は5mを計画している。

問 三木議員

いざという時、防災無線がきちんと機能する必要がある。そのための管理はできているか。

答 総務課長

定期的に巡回を行い、非常時に適切な対応

が取れるよう、保守・点検を行っていく。

問 香西（義）議員

育英資金の貸付条件は。

答 教育総務課長

町内に居住し、優れた素質と強い向学心をもちながら、経済的理由により進学が困難な高校生や、大学生に貸与するものである。

問 渡辺議員

育英資金について、町税滞納者の子弟は利用できない。改めるべきと思うが。

答 教育総務課長

町税滞納等があれば、納税計画表等を出してもらい、すべて貸し付けはしている。

問 三木議員

未来ある子どもたちが、一生懸命スポーツを

行う割に、スポーツ少年団などへの補助金が少ないと思う。金額の決定根拠などを示せ。

答 生涯学習課長

例年通りの補助内容である。

今後も厳しい財政状態ではあるが、何とか対応していきたい。



▲スポーツ少年団（バレーボール）

特別会計

(水道事業会計を除く)

62億2,200万円

国民健康保険

問 渡辺議員

保険税が高くなりすぎていると思うが、引き下げる努力は行ったのか。

答 副町長

有識者で編成する審議会等で諮問し、減額の努力は行いたい。

簡易水道

問 香西(義)議員

町債は3900万円であるが、借入率や償還年数、町債残高はいくらか。堂ヶ平簡易水道改修事業の内容は、どのようなものか。

答 上下水道課長

町債は、借入利率が5・0%以内であり、21年度の残高見込みは2080万円。22年度

末は5600万円を見込んでいます。改修事業は、供用を開始して25年経過しており、多くの施設が更新の時期を迎えているためです。

農業集落排水

問 松原議員

5900万円の工事請負費の内容は。

答 上下水道課長

井上南部末端の管路から、公共下水道の処理場への、接続部分工事、2400万円、北部地区寒国川の橋の仮設橋の添架工事等に500万円である。

問 西丸議員

新開地区街づくり事業と三木東地区浄化センターの建設候補地との兼ね合いは。

答 参事

まちづくり事業は、新設道路と併せてエリア内に公園などを考えている。

また、浄化センターの建設場所を新開地区に決定した場合、まちづくり事業計画の一部見直しが必要である。

介護保険

問 渡辺議員

高齢者のグループホームでの火災が相次ぎ、犠牲者を出している。町民が利用するグループホームの状況を把握しているのか。対策指導はできているのか。

答 健康福祉課長

町内の老人ホーム2カ所、グループホーム2カ所については、避難訓練の実施や、防火対策などに取り組んでいる。

公共下水道

問 西丸議員

処理場用地の地権者は何人で、何人と条件が折り合っているのか。また、処理場建設の今後のスケジュールは。

答 参事

地権者は13人で、契約のできているのが12人である。

答 上下水道課長

今、確認申請を行っている。今後、都市計画の変更などの事務的手続きを終え、この秋には着工したい。

問 松原議員

住民の皆さんあってこそこの事業であるとの視点を持って進めてほしい。処理場予定地周辺の地元住民との話合いの状況はどのようになっているのか。

答 上下水道課長

自治会との説明会や、先進地の視察等を行ってきた。今年に入り、自治会の交渉チームと定期的に意見交換会を開催している。特に建設に伴う、大水時における対応を心配されている。意見交換会を積極的に行い、大水時の対策など話し合っていきたい。

水道

問 香西(義)議員

自己水を、もっと活用してはどうか。

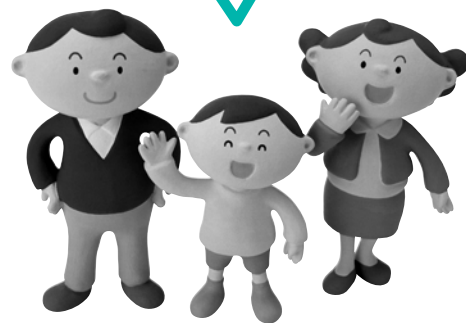
答 上下水道課長

県との契約水量によって、配分が決まっている。今後、自己水の活用も含めて考えていきたい。

追跡 レポート

第15回

どう
なっとんな？



幼稚園での預かり保育の実現を

幼稚園での預かり保育を実現できな
いか。

平成20年12月定例議会
一般質問



教育長答弁

子育て支援策として検討していきたい。

こうなりました

平成21年度は田中幼稚園で試行され、
22年度から田中・白山幼稚園で本格実施
になります。



(田中幼稚園預かり保育の様子)

議 会 の 動 き

- 12月22 議会広報編集委員会
- 1月8 議会広報編集委員会
- 13 香川県広報発行町議会連絡協議会主催
県外視察研修
- 28 環境保全対策特別委員会
- 2月12 教育民生常任委員会
- 17 建設経済常任委員会
- 26 下水道推進特別委員会
- 3月3 議会運営委員会
- 9 第1回定例議会開会(議案の上程)
議会広報編集委員会
- 10 総務常任委員会
教育民生常任委員会
- 11 建設経済常任委員会
本会議(補正予算の内容説明)
質疑、討論、採決
- 12 本会議(当初予算の内容説明)
議会運営委員会
- 15 本会議(当初予算の内容説明)
- 18 本会議(一般質問)
- 23 本会議(当初予算の質疑)
- 25 本会議(議案の質疑、討論、採決、
陳情書の上程、委員会付託の決定)

問 後継者に意中の人はいるか

答 特にいらない



一般質問
西丸 一明 議員

町長は、10月の町長選挙に出馬せず、勇退することを表明したが、後継者に誰か指名するのか。

町長

特に、意中の人はいない。去る者が、後継者を指名することは僭越けんえつだと思う。

清潔、誠実で、郷土愛を持って、信頼できる方なら、どなたでも結構だ。

町長の親戚に当たる井上地区の―氏とは、どのような関係か。

町長

そんな人は知らない。

義弟を推すのか

そうですね。では、町長の親戚に当たる妹婿（義弟）が、町長の後継者として出馬の意向を示していると聞かすが、そのようなことを知っているか。

町長

受け取るのは自由だ。

公共下水道事業の三木浄化センターの着工メドは

四角寺南団地や鍋淵地区の住民の皆さんと協議をしているが、着工に向けての条件整備はできたのか。

町長

処理水の放流は、新川下流の土地改良区の理解が得られないので、女井間池に放流することで基本同意を得ている。

隣接団地の方々は、定期的に意見交換会を実施しているが、大水時の対応などについて、まだ理解が得られていない。

鍋淵地区については、ほ場整備の要望について、さらに協議を行いたいと考えている。

農業集落排水事業の三木東浄化センターの用地確定は

昨今の下水道事業推進の議論は、論点がすりかえられているのではないかと。反対している住民は、下水道事業そのものに反対しているのではないと思う。

町長

3月末までに、建設場所を決めるように県の方から言われていたが、どこに決めるのか。

新開地区に、ややウエイトを置いている。2回の意見交換を踏まえ、年度末から4月初めにかけて、予定地を決めたい。

総括をすべきだ

あなたのお嬢さんの土地を購入するために、八戸地区に決めたことが、過ちの始まりだ。

町長

一度、あなたの政治手法のミスを素直に認めながら、真摯に、住民との話し合いをすべきではないか。

あなたも先般の記者会見で、為政者を志すことを報道で知ったが、その財政手法について、妙案がございましたら、ぜひご教示いただきたい。

心配は要らない

あなたに言われたくない。私が、民主党政権に責任を持って話をつけるので、ご心配はいらない。

秋の町長選を待つて、町民の審判を受けて新しいリーダーに任せたらどうか。

町長

町内の大勢の皆さんの期待に込めて、一日も早い供用開始に努めたい。

問 人と自然にやさしいまち、三木への考えは

答 実現に向け、誠心誠意取り組んでいく



一般質問
富田修司議員

10月22日を以って任期満了となる町長の、これまでの「人と自然にやさしいまち・三木」への想いは。

町長

町の目指すべき将来像を「人と自然にやさしいまち・三木」とさだめ、その実現をはかるために、公共用水域の環境保全を進め、生涯学習社会の実現を目指し、行政改革の推進の中で、安心、安全な教育環境の整備を進めたが、下水道事業については、多大なご心配をおかけした事が心残りだ。

コミュニティバス

新規に購入したコミュニティバスの「耐用年数」や「限界とされる走行距離」また「次の買い替え予定の時期」は。

政策情報課長

法定の耐用年数は6年となるが、限界となる走行距離を約50万キロ程度と想定し、年間約6万4000キロ走行するので、買い替え予定時期は平成30年ごろとなる。

バスの購入に「地域活性化生活対策臨時交付金」と共に町一般財源の投入もあると想定されていたが。

政策情報課長

バスの購入費、1816万5000円は全額「地域活性化生活対策臨時交付金」だけで執行できる見込みだ。

香川県からの「バス運行対策費補助金」の今後の見通しは。

政策情報課長

香川県からの「地域生活交通路線運行費補助金」、いわゆる「バス運行対策費補助金」の見通しは、県財政も非常に厳しい中、廃止はともかく、補助率の引き下げや、対象経費の見直しなどは、将来、ある程度、想定しておく必要があると考える。



▲新しいバス

防犯灯の設置

近年の街灯・防犯灯数の推移は

町長

四国電力からの寄贈と高松東防犯協会からの受納により、平成20年度は8基、21年度も8基の防犯灯を設置した。

平成22年2月末現在で、756基の防犯灯を町が管理している。

LED（発行ダイオード）街灯・防犯灯の設置はできないのか、また、今有る防犯灯をLED化はできないか。

ランニングコスト、経費の減少にもつながると思うが。

町長

年間のコストは、平成20年の実績で、電気料金年間538万円余、修繕料84万円余を支出している。

LEDは寿命が蛍光灯に対して長く、二酸化炭素排出量も削減されるといわれており、設置後のランニングコストの軽減が望め、環境にやさしい事も利点とされている。

蛍光灯からLEDへの過渡期で、割高となり、今後、一般に普及する事により製品の価格も下がってくるもの

と考えられる。防犯灯の設置に付いては、従来どおり、各関係機関の協力を得ながら進めていくと共に、LEDを光源とする防犯灯については、計画的な配置を図るため、検討をしていく。



小学校の英語教育

新しく小学校において英語が導入されるが、どこに重点を置いた教育をするのか。

子供たちにとって初めて出会う英語学習が楽しいものであり、学習意欲の向上につながるような教育を、お願いします。

教育長

聞く、話すというコミュニケーションに重点を置いた教育をする。

問 町民の生活、医療、福祉、教育の充実を

答 安全で快適な生活の確保を目指す



一般質問
渡辺 達実 議員

次期、第5次三木町振興計画の策定においては、町民のくらしを守る防波堤として、積極的な姿勢を望む。

町長

平成13年度から22年度までの10年間を計画期間として策定された「第4次三木町振興計画」さらには、それを補完する「後期基本計画」は、来年度、計画期間の最終年度を迎えることとなり、総仕上げの年となっている。
第5次振興計画は、22年度に総括し、社会情勢の変化を見据えながら策定作業を行う予定にしている。

住民の理解を

下水道事業の今後の課題を問う。
事業の推進に当たっては、住民の理解が得られるよう努力を望む。

町長

公共下水道事業

今後は、浄化センターの処理水の放流先が新川から、女井間池に変更されることに伴う事務手続きを行い、周辺住民および関係機関との調整など誠意を持って協議を行い、平成22年度には建設工事に着手できるように考えている。

農業集落排水事業

住民の方々の率直な

意見を聞く意見交換会を1月31日と3月6日に開催した。2日間でのべ500人を超える住民の方が参加され、忌憚のないご意見を述べていただいた。

今後は、出された意見などを参考にして、県および町議会、推進協議会とも協議を行い、年度末から年度初めにかけて建設位置を決定し、事業の再開に着手したい。

町長

災害時の、生活基盤の危機管理は

災害時における水道事業等、町民の生活基盤の危機管理、対応は

どのような状況か。

町長

地震等の災害時、異常を感知すると自動的に管路を遮断する緊急遮断弁を、池戸、鹿庭の各配水池に設置している。また、石綿管等の老朽管の布設替えも計画的に実施している。
水道管の漏水事故等への対応は、24時間体制で町内業者13社に当番をしていただき、緊急時には、担当課の指導に基づき、早期の復旧をお願いしている。

幼児教育の充実を

町の幼児教育の基本的な考え方、進め方を問う。

教育長

幼児教育は、改正教育基本法（平成18年公布・施行）に、人格形成の基礎を培う重要なものであることが、初めて明記され、幼稚園から小学校、中学校、高等学校まで見通して考えられるようになった。

幼児期は、大脳の発達や心と身体の発達において、重要な時期である。そのような観点からも、食事や睡眠など生活習慣を大切に育てる子どもたちの育成や、保護者の理解と協力をいただきながら、幼稚園児の体力づくりに努めていきたい。

同和行政の終結を

国の法律が終了している同和对策事業。同和行政は終結させるべきではないか。

町長

同和問題をはじめとする、子ども、高齢者、障害者等さまざまな人権問題の解決のために、人権教育・啓発活動等に積極的に取り組む必要がある。



▲平井幼稚園池戸分園

問 更なる福祉サービスの向上を

目指し、町発展につなげよ

答 町政運営に全力を傾注していく



一般質問
松原 哲也 議員

ガソリン税暫定税率の廃止に始まり、高速道路無料化や子ども手当の新設、高校の無償化など、政権交代以降、

それら公約の実現を巡り、様々な議論・見直しが繰り返されてきた。

これら国の急な方針転換や変動は、中央の依存度が高い我々地方自治体にとって、影響がかなり大きく、場合によっては、従来の基本構想すら見直しを迫られることになる。

政権交代から続く一連の国の政策転換が、当町の予算編成に与えた影響は。

町長

新政権による地方財

政政策は、今後、国と地方の役割分担の大幅な見直しと合わせ、それに見合った税財源の配分のあり方を見直し、地域主権を確立するための税制を構築していくこととしている。

税制度設計の大きな転換が予測され、地方財政への影響は計り知れないものがあるが、現時点では不透明である。

また、町民一人ひとりが真の豊かさ、安らぎを実感できるよう、積極的な地域経済対策を講じていく。

新年度の主要施策、新規事業の取り組みは。

町長

国の各交付金等を、重点的・効率的に活用することにより、地域単独事業量の確保に努める。

また、町民一人ひとりが真の豊かさ、安らぎを実感できるよう、積極的な地域経済対策を講じていく。

下水道事業関連の公債費のピークをこの先迎えるなど、歳出の増加が今後予想される中、不況の長期化による税収の落ち込みが、さらに進むのも必至である。

町としては、これらの財政予測をどのように立てているのか、その考えを聞く。

町長

下水道事業等の進捗による、将来の負担内容の確に把握し、さらなる発展に向けた安定的な財政運営を確保することが、一層重要である。

今後、国の動向に注視し、財政環境のいかなる変化に対しても、不断の決意と揺るぎない信念を持って、在任期間、引き続き町政運営に、全力を傾注していく。

下水道整備のゆくえ

農業集落排水事業

三木東地区の処理場計画変更について、候補地の決定を今月中に行う必要がある。

処理場予定地の場所は、どこで進めるのか。

また、その決定に当たったの根拠と、周辺住民との話し合い状況についてなどを聞く。

町長

現在は、新開地区にややウエイトを置いて事業を進めている。

住民の方々の意見などを参考に、本年度末から、次年度初めにかけて決定できるよう、議会と十分連携をとりつつ、県とも調整を図る。

県が示す、新開地区処理場予定地周辺の100%同意のめどは。

参事

周辺同意は、法的に

は絶対条件ではないが、公共事業を円滑にすすめるには、周辺の方々のご理解を得るべきであると解釈している。

今後とも、最善の努力をしていきたい。

公共下水道事業

処理場予定地隣接の四角寺南団地の方々から建設反対の陳情があり、その看板等を立てられている状況であるが、その対応はどうするのか。

上下水道課長

今年の1月に、団地内で交渉チームが充足し、2週間に1度の割合で、役場職員と意見交換会を実施している。

処理水の放流先や、大水時の対応について十分説明を行っているが、まだ理解を得られていない。

今後とも、誠意を持って対応をし、努力していきたい。



▲すずめ日本

問 下水道事業に関連する土地改良法、 および農地法の整合性は

答 どちらの法律も、農業用水路の
適正な機能の確保を目指している



浄化センター用地内に埋設している香川用水の配水管の移設について、新川下流の土地改良区が反対している理由は。

町長

三木浄化センター建設予定地に香川用水の送水管が埋設されており、処理施設の建設に支障となることから、香川用水土地改良区に協議の申請をしたところ、維持管理を委託している新川沿岸土地改良区連合の了解がないと許可できないということである。

処理水の新川に放流することに反対している新川下流の4土地改良

区の役員が、新川沿岸土地改良区連合の理事の大半を占めていることから、移設に関する協議には応じることができないということが、香川用水土地改良区の見解である。



▲新川をのぞむ

法定点検、保守点検・清掃を絶対にしなければならぬ条例の制定を検討しては。

町長

合併処理浄化槽が性能を発揮するには、適正な維持管理と浄化槽法に定める法定検査を受けることが不可欠である。本町において法定検査の受検率は、平成20年度約22%と低い状態であり、そのうち管理状態の適正でないものが約15%を占めており、公共用水域の水質悪化の原因になっているものと思われる。

これについては、厳しい処置で望みたいと考えている。

土地改良法56条、「土地改良区の協議請求」、57条の3「予定外排水の排除等のための措置」の関係で、高松

市の4土地改良区からどのような要請があるのか。

上下水道課長

新川下流の4土地改良区から新川放流反対要望が出されているが、土地改良法第56条、57条3項による反対要望ではない。

利害関係者である高松市の東部地区住民の同意なく工事に着手しようとして、また、新川、男井間池の灌漑配水路として水利管区を有することから反対するという要望である。

農業集落排水事業中部地区、西部地区について

では、土地改良事業として見直すべきではないか。

上下水道課長

農業集落排水事業を実施する事業主体は地方団体、つまり、都道府県、市町村、または土地改良区と定められており、今後、進めて行く三木中央地区なり、三木西部地区については、住民の皆様のご意見をお聞きするとともに、事業主体については、その都度検討させていただきます。

公共下水道と同じように、農業集落排水事業ができれば、絶対に接続しなければならぬ条例制定の検討は。

町長

公共下水道事業では、接続と水酸化促進のため、下水道法で公共下水道への接続を強制している。

一方、農業集落排水

事業には農業集落排水施設への接続を強制する法律はない。

本町においては、三木町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の第5条に、供用開始後3年以内に排水設備を設置するよう規定しているが、井上北部地区の現状を見てみると、供用開始して7年余り経過して接続率が7割程度ということから、今後は、接続率向上に向けて、法の下の平等、すなわち、条例の下の平等といった大原則を踏まえて、水酸化工事のために必要な資金に対する補助制度の創設など、住民が下水道を利用しやすい環境を整えることが重要と考えている。

土地改良法、農地法、また美化条例等も十分に検討して、前向きで条例制定に向け、努力したい。

問 新年度予算編成の

基本姿勢は

答 町民目線に立ち、住民ニーズに応える



一般質問
原田 照治 議員

景気低迷による法人税や、個人町民税の減少が避けられず、また、地方交付税などの動向も不透明な状況の中で、財政環境は一段と厳しいものがあるが、多種、多様化する住民ニーズにいかに対応していくのか。また、どのような姿勢で、予算編成に取り組まれたのか、町長の所見を問う。

町長

平成22年度当初予算編成は、町民目線に立ち、より適切かつ確実に、住民ニーズを踏まえた自立した財政運営を行うことはもとより、非常に厳しい財政環境と社会経済情勢の変化を

認識した上で、徹底した事務事業の見直しと歳出の抑制、財源の確保などに努めながら、中長期的な視野に立脚し、本町が当面している様々な行政需要に的確に対処していくことを基本として編成に努めている。

「コンクリートから人へ」とする国の政治姿勢の中で、本町の道路網の整備や、下水道事業に対する影響および新年度において、これらの事業にどのような方針で臨むのか、町長の決意を問う。

町長

国の新年度予算に

は、社会資本整備総合交付金の創設が盛り込まれており、道路事業や下水道事業においては、自治体の判断により、この一括交付金を活用することができるとなっているが、一括交付金の全容がまだ不透明であることから、今後、その動向に留意する必要があると考えている。

また、地域の実情に即した、適切な住環境整備事業を選択して、住民が真に豊かさを実感できる住みやすい住環境整備事業を、引き続き実施したいと考えている。

超少子高齢社会に対する福祉施策は

2025年には高齢化率が30%に達すると予測され、また、団塊の世代も75歳以上になるが、2025年を展望した中で、新たな介護ビジョンが必要と思うが、町長の所見を問う。

町長

高齢者に関わる保健福祉施策については、介護、生活、社会における各環境の整備、とりわけ介護予防を主とした介護環境の整備を目標としたまちづくりを推進するとともに、介護保険制度による介護サービスや介護予

防、生活支援の保健福祉サービス等により、充実した老後の安心を支える介護基盤づくりを推進したいと考えている。

学校現場における携帯電話問題は

本町の各学校現場においては、原則として「校内に携帯電話を持ち込ませない」方針を徹底させているようだが、その一方で、登下校時などの連絡手段として、子どもに携帯電話を持たせたいという保護者のニーズもあるが、教育長の所見を問う。

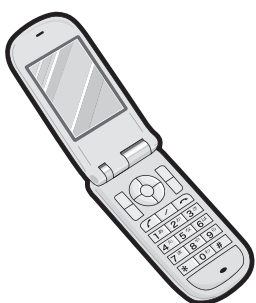
教育長

町内の小・中学校は、早くから学校内への携帯電話の持ち込みを原則として禁止しており、携帯電話は、自分のことが、自分で判断できる年齢になるまで「持たせない」「使

わせない」「使わない」ことが一番である。携帯電話によるいじめなどのトラブルの解決は、極めて難しいものがあり、携帯電話が必要な場合には、保護者の責任において、約束事を決めて持たせることが肝要である。



▲三木中学校



問 平成22年度末の普通会計の

基金(貯金)・地方債(借金)は

答 基金22億9150万円
地方債68億5670万円の見通しである



一般質問
香西 義典 議員

今年度予算の編成に

当たり、町長は、どのような基本姿勢、また考え方で、臨まれたのか。

また、「人と自然にやさしいまち・三木」の実現に向け、確たる政策目的の方策を的確かつ確実に達成することにより、町民一人ひとりが

真の豊かさを実感できるような、住民満足度の向上を目指すことを基本に、今年度予算編成を行った。

基金(貯金)の取り崩しによる残高の減少など、財政の硬直化の懸念材料を抱え、一層の行財政改革への取り組みが求められ、5年間の新たな行財政集中プランに基づく取り組みに

ついて、町長の考えは。

町長

「第4次三木町行財政集中改革プラン」などの指針に沿って、引き続き行財政改革に果敢に取り組んでいきたい。

町税の22年度予算額の減額の要因は。

町長

景気悪化の影響で、軽自動車以外全ての税目で、現年分が落ち込み、前年度比2.6%減の25億5254万円を当初予算案として計上している。



▲三木東地区意見交換会

町長

現在、浄化センター建設場所が決定できず、住民の皆さんに、ご心労を煩わしていることに、大変申し訳なく思っている。

両日は、事業の概要および農業集落排水と合併処理浄化槽との経済比較、さらには公共下水道への接続の経済比較など説明し、意見を述べていただき、それを集約すると大半の方々が事業の早期実現を求める意見であったように感じている。

町執行部に苦言を呈しておきたい。

昨年10月に新聞報道された、「県が事業の早期

実現を図るため、地元自治会からのほぼ同意が得られている新開地区で進めるべき」と指導したとした件について、今年1月から2月にかけて、町・特別委員会・地元と各意見の違いが生じ、その要因は、指導と助言との言葉の違いが原因と地元自治会より不信感が持たれたことについて、地元関係者にどのように説明されたのか。

参事

県は、三木東浄化センターの建設場所を新開地区に進めるようにとの指導はしていないと言ひ、町は、平成21年8月26日に開催された下水道推進特別委員会において、県指導により、新開地区に、ややウエイトを置いて進めるとの報告をしている。

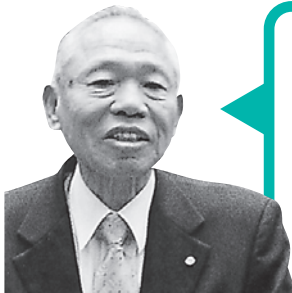
これまで、県と町との協議の中で、県からこれは指導であるとい

う発言は一度もなく、県にしてみれば、指導ではなくアドバイスなり、助言を行ったものであると思う。

ただ、町にしてみれば、県の発言を指導と理解したまでのことであり、このことを受けて、町の方針として、下水道推進特別委員会委員長の調査報告を行った内容のことを報告したもので、委員長が、強いて事実と異なる報告をしたものではない。



▲井上北部浄化センター



8
項目

町長はこう答えた!

昨年の12月定例議会において、決算特別委員会からの、平成20年度各会計決算についての8項目の指摘事項に対して、町長から今後の取り組みについて報告があった。

1 医療制度の充実を

町長

乳幼児医療制度や母子家庭医療制度により、子育て家庭の経済的負担の軽減に、引き続き努める。

母子家庭や重度心身障害者等の医療制度については、市町村民税課税世帯には自己負担をお願いしているが、新年度から、現行の2分の1に引き下げる。介護予防サポーターや、認知症サポーターの要請を引き続き推進する。

2 滞納対策と納税方法等の多様化を図れ

町長

悪質な滞納者対策については、納税相談、預貯金調査や給与調査などを行い、不動産の債権の差押え、公売等

の滞納処分を行う。納税方法の多様化については、検討すべきであるが、他市町の動向や、費用対効果も考え検討する。

3 下水道事業の早期再開に向けて

町長

本町にとって、最重要課題の一つである。建設予定地周辺住民など、関係者の理解が得られるよう、引き続き誠意を持って対応し、早期の供用開始を目指す。

4 町費単独補助金および委託料の見直しの検討を

町長

町単独補助金については、その存続意義を十分に検証し、時代の推移、変革の中で、特に5年以上を経過して

いる奨励的なものは、廃止を前提として見直す。また、社会状況の変化に即した効率的な委託形態への転換に向け、改善に努める。

5 町内道路網の整備を

町長

町道の舗装率は96%以上であり、実質的な生活道路については、ほぼ解消できていると思う。県道山南3路線については、常に県に要望し、整備が行われている。主要(南北)幹線道路は、測量設計業務を実施しており、推進に努める。



▲整備が進んでいる山南路線

6 交通弱者の移動手段確保と利便性の向上を

町長

利用者からの要望に応えて、停留所の位置、時刻表の見直しの検討を行っている。また、本年1月に、バリアフリー構造のノンステップバスを導入した。過疎地域を含めた町内全域への拡大については、他市町の「デマンド乗り合いタクシー」などについて、十分調査研究する。

7 自主防災組織の結成促進を図れ

町長

自主防災組織は、現在約80%の結成率となっており、なお一層の結成を促す。こうした中、昨年11月3日には住民参加型の総合防災訓練を実施。また、防災リーダー研修会等を開催。

8 指定管理者制度の見直しを

町長

指定管理者選定委員会において、導入の検討をしている。今後は、具体的な指定管理者の導入候補施設を選定する。経費の削減と、住民サービスの向上を目指し、民間活力を取り入れることも含め、その施設の性格に応じた指定要件の検討を行う。

防災意識の高揚と、組織力の向上を図り、地域防災力を高める。

※8項目の指摘事項の内容については、1月20日発行の議会だより(No.130)12ページをご覧ください。

委員会レポート

下水道推進

2月開会

担当課から、昨年12月4日開会の、本特別委員会以降の公共下水道事業と、農業集落排水事業の状況について、説明があった。

公共下水道事業

問 四角寺南団地の方々が、反対看板を掲げたということであるが、これまでの対応状況は。

答 上下水道課長 定期的に見聞交換会を実施しており、できる範囲の対応策を示し、理解を求めている。

問 放流先について、女井間池水利組合から同意が得られた中で、女井間池との細かい協定の内容は。

答 上下水道課長 草刈など、池の管理は町で実施してほしいとの要望があることから、今後関係者と現地調査を行い煮詰めていきたい。

農業集落排水事業

問 農業集落排水事業の井上南部地区同様、三木東地区についても、公共下水道に接続が可能かどうか。

答 上下水道課長 井上南部地区は双方の浄化センター建設予

定地が近接していることから、費用対効果を考慮し、国および県と協議の上、接続が認可された。

公共下水道の供用開始の時期が不明確であることなどから、三木東地区のエリアの中で建設したい。

問 新開地区に、ややウエイトを置き事業をしているということであるが、周辺同意について、県からどのような助言があるのか。

答 上下水道課長 事業を円滑に推進するために、できるだけ全員の方の理解を得られるよう、努力するようにとの助言は受けている。

環境保全対策

1月開会

近隣市町における、環境美化推進員制度の現状について、調査検討を行った。

県内では、一町を除くすべての市・町で、環境美化に関する条例が制定されている。さぬき市、東かがわ市など5市では、推進委員を規定しているという報告があった。

問 日常生活で問題になっていることに関するパトロール的なものが考えられる。本町において、条例に規定し委員を委嘱する意思はあるのか。

答 環境保全課長 委員の役割を明確にできないので、十分検討した上で、規定しなければならぬと考えている。

問 町民の皆さんは、環境美化条例があることを知らないのではな

いか。もっと広報啓発活動を行い、関心を持ってもらう必要があるのではないか。

不法投棄および、犬の糞の後始末を呼びかける啓発看板の無償配布をしているが、広報みやチャンネルみき等を利用し、住民に広く周知し、さまざま箇所を設置することにより、環境美化に注意するのではないか。

答 副町長 条例について、知らない町民がほとんどであると思われることから、十分な啓発を行い、環境に対する意識の高揚を図っていく必要がある。

第5次振興計画を策定する上において、環境問題の中で、美化に対する必要な総合施策や基本計画等を盛り込み、本町の行政指針とするよう考えていく。



▲啓発看板

請願・陳情のゆくえ

平成21年 請願第1号 (平成21年6月9日受付)

三木町立中学校武道場建設に対する請願書

三木町大字田中4505番地1 進武会スポーツクラブ会長 宮井 進 他1432名

趣旨採択

平成21年 陳情第2号(平成21年12月16日受付)

三木町下水道整備事業の早期整備推進を求める陳情書

三木町大字井上513番地1 三木町井上南部集落排水推進協議会 代表者 岩淵 角太郎 他360名

採 択

平成22年 陳情第1号(平成22年3月1日受付)

三木浄化センター(仮称)建設に対する陳情

三木町大字池戸1253番地6 四角寺南団地自治会一同 代表 高橋 英幸

建設経済常任委員会へ
付 託

平成22年 陳情第2号(平成22年3月2日受付)

農業集落排水事業三木東地区の浄化センターの早期建設を求める陳情書

三木町大字鹿庭821番地 三木東地区農業集落排水事業推進協議会 代表者 笠井 勇 他2095名

建設経済常任委員会へ
付 託

平成22年 陳情第3号(平成22年3月4日受付)

農業集落排水事業三木東地区管路の公共下水道の処理場への接続を求める陳情書

三木町大字下高岡1459番地1 ウォーキングセンターを守る会 代表 北内 穰 他514名

建設経済常任委員会へ
付 託

No.	受付日	件 名	審査結果
1	平成21年10月 1日	なくせじん肺全国キャラバン要望書	議員へ配付
2	平成21年12月18日	安全でゆきとどいた看護を実現する需給見通しの策定を求める要請	議員へ配付
3	平成21年12月22日	国保と介護保険制度の改善を求める陳情書	議員へ配付
4	平成22年 2月22日	「安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続」を求める陳情書	議員へ配付
5	平成22年 2月25日	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府に提出することを求める件	議員へ配付
6	平成22年 3月 3日	改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書	議員へ配付
7	平成22年 3月 3日	肺炎球菌ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン接種への公費助成制度について	議員へ配付

今期定例議会の傍聴者は、
延べ37人でした。
次の定例議会の予定は、
6月中旬頃の予定です。

議員氏名	3/9	3/11	3/12	3/15	3/18	3/23	3/25
古市 弘	○	○	○	○	○	○	○
香西 茂知	○	○	○	○	○	○	○
石井 定夫	○	○	○	○	○	○	○
溝淵 清美	○	○	×	○	○	○	○
筒井 米市	○	○	○	○	○	○	○
原田 照治	○	○	○	○	○	○	○
桑井 明人	○	○	○	○	○	○	○
谷畑 健二	○	○	○	○	○	○	○
西丸 一明	○	○	○	○	○	○	○
古市 嘉忠	○	○	○	○	○	○	○
香西 俊之	○	○	○	○	○	○	○
三宅 貞夫	○	○	○	○	○	○	○
白井 正治	○	○	○	○	○	○	○
香西 義典	○	○	○	○	○	○	○
三木 和則	○	○	○	○	○	○	○
松原 哲也	○	○	○	○	○	○	○
渡辺 達実	○	○	○	○	○	○	○
富田 修司	○	○	○	○	○	○	○

○印は出席 ○は半欠 ×は欠席

第1回定例議会(3月)
議員出欠表
(本会議のみ)

元気なグループ紹介

三木町愛育会

子育てサークルぽかぽかクラブ

会長 福家 翠

私たちぽかぽかクラブは、就園前の子どもたちが集まって、のんびり遊びながらおしゃべりをしている子育てサークルです。

春にはイチゴ狩り、

夏にはビニールプール遊び、秋には運動会やアンパンマンバスで行く遠足、冬にはクリスマス会など、楽しい行事がたくさんあります。

また、ぽかぽかクラブには、氷上保育所のスタッフさんが木のおもちゃを持ってきてくれたり、『絵本の読み聞かせ』『わび歌』を

してくれまます。お母さんたちも、スタッフの方と育児相談をして、リフレッシュしたりと親子そろって有意義なひと時を過ごしています。

春にはイチゴ狩り、

子育てに悩んでいるお母さん、お孫さんと二人きりで困っているおばあちゃん、友達いっぱい作りたいお母さん、私たちと一緒に、ほっと一息できる時間を過ごしてみませんか？

毎週水曜

日、午前10時から11時半、氷上小学校南側・地域交流センターで活動しています。

会費は、一家族年間500円と、スポーツ保険が1人600円です。見学一回は無料です。見学一回は無料です。ぜひ一度遊びに来てみてください。

お待ちしています。



▶楽しい行事もいっぱい

自治功労表彰



香西俊之 議員



古市嘉忠 議員

地方自治の振興に功労があったとして、香川県町村議会議長会自治功労（在職10年以上）に、古市嘉忠議員、香西俊之議員が表彰され、その伝達が、3月9日、本会議場で行われました。

お気軽に議会を

傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人となっていますが、当日の午前8時30分で、傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。

●お問い合わせは、議会事務局へ
☎(087) 891-3311

次の定例議会は、6月中旬頃の予定です。

編集を

終えて



政府は、米軍普天間飛行場の移設先候補地の選択に迷走している。沖縄県内に移設するとなれば、周辺住民に対して理解を得ることが、今後の重要課題であると思う▼民主党の政権公約の一つ、中学校卒業までの子ども手当（1年間は半額）が、本年度から定期的に分割して支給される。家計の支援効果や、景気回復を図る起爆剤になればと願っている▼今年の夏の参議院選と、県知事選に引き続き、町長選が10月上旬に予定されている▼現職の町長は、3月定例議会で今期限りで退任する意向を表明した。今後の動向が注目される▼本町の近未来を大きく左右する大事な選挙であると思う。

(M・S)